

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103870
法人名	有限会社スローライフ
事業所名	ぐるうぶほうむ3丁目
所在地	愛媛県松山市東野3丁目11-16
自己評価作成日	平成21年8月19日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>月に一度勉強会を開き職員一人ひとりが認知症についての知識を得られるようにしている。季節ごとに行事を行うようにしている。（春は花見、夏は祭り、秋は紅葉狩り、冬は正月）庭が広く、梅や桜、松や紅葉などの木々があり、季節感を感じられる庭となっている。縁側があり、日向ぼっこをして、のんびりと庭を眺めて過ごせるようになっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>民家改修型のグループホームで、お風呂場やトイレもタイル張りの利用者の年代に懐かしい雰囲気となっており、食堂には、額に入った四国八十八か所の絵や利用者直筆の教訓を貼っておられた。利用者が畑作りをされており、野菜を植える等、希望に応じて畑を広げておられた。事業所の菜園や庭の野菜・果物の成長や収穫を楽しみにされ、話題になったり、食卓にも上っている。庭の梅の実で利用者が梅干しを作ってくださっている。事業所ではチームワークを育てていくために、全職員が集まり話し合うミーティングの機会を大切にされている。「認知症高齢者に対する専門的なかかわり」に向け、勉強会も月1回、行われている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ぐるうぷほうむ3丁目

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

喜井 洋介

評価完了日

21 年 8 月 19 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ケアカンファレンスの際に理念に沿った話し合いをして理念の共有をしている。また玄関と居間に理念を掲示していつでも確認できるようにしている。	
			(外部評価) 「尊厳保持」「自立支援」を理念に揚げ、この一年間は、利用者への対応について、職員は「されて嫌なことはしない」ことを心がけ、又、「ご自分の足で歩くことの支援」に力を入れて取り組まれた。法人代表者は、「地域の人達にグループホームで利用者が普通に暮らせることを、知ってもらいたい」と話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 町内清掃や祭りなどの町内行事に参加し地域との交流に心がけている。	
			(外部評価) 地元職員の地域のネットワークや、運営推進会議時の民生委員の方の情報を得て、地域行事等に参加されており、祭りの際には、利用者用に座席を用意して下さるようになった。又、近所の方がお花や果物を届けて下さることもある。	管理者は、「地域の方達が気軽に来てくださるような事業所を目指していきたい」と考えておられる。今後、事業所では、利用者が外出する機会を増やしていくことも計画されており、利用者が地域の方達とふれ合えるような機会が増えていくことが期待される。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、利用者の現在の様子など話し合い、地域の方に理解や支援など協力を得ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施設内の利用者の現状や悩み、活動報告をすること で、施設内における意見や改善点を直接聞き出し実践 している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>2ヶ月に1回、会議を開催されており、気軽に来ても らえるよう約30分の会議とされている。現在「事業 所の行っていることを知ってもらう会議」に取り組ん でおられ、利用者の状況や事業所の活動報告、庭や畑 の様子、毎月行う勉強会の内容等もお知らせしてい る。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議やアンケートの回答などで事業所の実情 やサービスの取組みを伝えるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>法人代表者は、県内外で研修講師を務めておられ、 「認知症ケアの向上」に尽力されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアカンファレンスや勉強会を通じて、確認しながら 実践で生かしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所内の勉強会等で、「どのようなことが身体拘束 になるのか」ということを全職員で確認されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ケアカンファレンスや勉強会を通じて、確認しながら実践で生かしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 月に一度の勉強会を通じて勉強する機会を設けている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書に沿って契約時の説明をし、利用者や家族の不安や疑問点も訪ねるようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎月ケアカンファレンスを開き利用者の意見や要望を取り入れ運営に反映させている。 (外部評価) ご家族の来訪時や毎月の書類送付時に、利用者の日頃の様子や写真、おこずかいの詳細を報告されている。	ご家族の知りたいことを探り、情報提供されたり、意見やご要望を引き出すような取り組みの工夫が期待される。たとえば、利用者の日中の過ごし方や食事について、金銭管理の報告等、ご家族の不安、心配事、ご意見をうかがうような機会を作ってみてはどうだろうか。ご家族から出されたご意見等をきっかけにして、事業所のさらなるケアの質向上に取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングで意見を行く機会を設け運営に反映している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「認知症高齢者に対する専門的なかわり」に向け、勉強会も月1回、行われている。外出等の行事計画について、職員からの提案が反映されている。</p>	<p>事業所ではチームワークを育てていくために、全職員が集まり話し合うミーティングの機会を大切にされている。今後、さらに、利用者個々の心地よい暮らしを支えていけるようなアイデアや意見等を全職員で活発に出し合い、管理者を中心としたチームケアに取り組んでいかれてほしい。</p>
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員一人ひとりの努力や実績を把握して給与に反映している。また、シフト作成前には必ず職員の希望を聞くようにしている。</p>	
13		<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>勉強会を毎月実施している。外部研修に参加できるようにしている。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>すべての職員とは言えないが、外部研修や見学のときなどに交流がある。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>困っていること、不安なこと、要望に耳を傾けながら、本人の安心を確保するように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族が困っていること、不安なこと、要望に耳を傾けるよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人と家族が必要としていることを考えるようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>何もかも介護をするのではなく、利用者ができることはしていただいている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプランを立てる際に必ず家族の意見を聞くようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの人に会えるよう家族と連絡を取り会うことができるよう支援に努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ご家族からお手紙が届く方が多くあり、枕もとに置いて朝夕に読んでおられる方がいる。ご家族の仏事への出席時、職員が送り迎えされることもある。ご家族と外食を楽しまれる方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 座席を考慮したり、話すことが苦手な利用者さんへの積極的な話し掛けを行うなど疎外感を生じないように勤めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方との手紙のやり取りなどの交流がある。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎月のケアプラン作成時に、本人の意思意向を尋ね、それらをケアプランに反映することで本人がより快適に過ごせるよう配慮している。 (外部評価) フェースシートは半年に1回見直しをされている。あらたに、事業所オリジナルで「困ったことシート」を作られており、職員一人ひとりが利用者個々の様子や気付き等を記入するようになっている。又、個別生活特性シート等も用いられている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個人情報は何度も読み返すことで状況把握に努めている。また、職員間のコミュニケーションを通じてより深く理解するよう勤めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々行っている介護記録や、日誌、排泄記録表、生活健康表の内容を確認しながら、より適切な介護を提供できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人や家族の方に計画を見せて意見やアイデアを取り入れながらケアプランを作成をしている。	
			(外部評価)	
			ご家族の来訪時に要望をお聞きして、介護計画を作成するようになっている。毎月モニタリングを行い、6ヶ月ごとに見直しするようになっている。	法人代表者は、「ご本人がどうしたいのか」を汲み取った介護計画の作成を目指しておられ、「そのために職員は何ができるか」検討しながら、作成したいと考えておられた。ご本人の暮らしがより良くなるような介護計画の作成に取り組んでいかれてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			介護記録や業務日誌に日々の様子を記入している。何か気づいた点があれば申し送りをしている。月に一度のケアカンファレンスで情報を共有しケアプランを見直している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			できるだけ努力はしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			ホームの近くにある神社にお参りに行ったり、公園で花見をしたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			それぞれがかかりつけ医の受診を受けられるように支 援できている。	
			(外部評価)	
			入居時に、ご本人ご家族に、かかりつけ医の希望を聞 き、ご家族が付き添われたり、職員が受診に同行され ている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			医師に相談や受診はできているが、看護職員や訪問 看護師に伝えて相談ができる支援はできていない。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			利用者が入院をした際には、できるだけ見舞いなど にいき病院関係者と情報交換ができるよう努力してい る。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人・家族と十分に話し合いをし事業所でできるこ とであればかかりつけ医との連携を取り支援してい くように努めていく。	
			(外部評価)	
			事業所の看取りの方針を示し、入居契約時にはご家族 に説明をされている。利用者の状態変化時には随時、 医師の説明等も受けて、ご本人やご家族が判断でき るよう話し合われている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 話しはしているが、実践力を全職員が身につけていない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回消防訓練を行うようにしている。 (外部評価) 避難訓練時には、消防署への通報の練習をされたり、日中の火災を想定して、利用者の方数名と戸外に避難する訓練をされた。	事業所では「将来的に地域と共同で訓練を行いたい」と考えておられる。日々、火災を出さないよう努めておられるが、いざという時、協力してもらえるような地域との関係や体制作り、又、地震対策等の取り組み等、全利用者、職員の安全を守れるよう、すすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者に対しての言葉掛けや対応について心がけ、よりよく暮らせるための支援をしている。 (外部評価) 利用者個々の個性を大切に支援されている。利用者の言葉や心遣いに、職員が「ありがとうございます」とお礼を言われている様子が見られた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 月に一度のケアプランについての話し合いがあり、利用者の希望を取り入れて、支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	毎月のケアプランを作成時に本人の意見や希望を反映させ、より有意義な生活が送れるように配慮している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	利用者の要望を聞いたり、本人に見合ったおしゃれに沿ったアドバイスをすることで、より快適な生活が送れるようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	できる方は自ら積極的に食材作りや食器の片づけをしてもらっている。それ以外の利用者でも味見をもらうことで料理に参加できるようにしている。	
			(外部評価)		
					事業所の菜園や庭の野菜・果物の成長や収穫を楽しみにされ、話題になったり、食卓にも上っている。誕生会には、ちらし寿司でお祝いされている。庭の梅の実で利用者が梅干しを作ってくださっている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	栄養面については一日のうち一度は必ずたんぱく質を取り入れている。また、野菜不足にならぬよう毎日必ず野菜類を取り入れている。水分補給は一定時間毎に適量摂取している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	食後は口腔ケアをするようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	毎日のトイレは見守り、同行と介助のパターンで支援を行っている。時間を見てトイレに行きませんかと声かけをしている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	外に出て掃除や草引きといった運動をしたり、寒天や乳製品を摂取し排便を促すようにしている。どうしても出ないときには医師に相談し薬の服用や浣腸で出るようにしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	1日の入浴で歌を歌いながら入浴したり、話をしながら入浴したり楽しく入っている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	利用者の体調に応じて休息を取れるように支援している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師から出される処方箋を介護記録にはさみ、薬の効能や用法・用量、副作用が分かるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人の意思がはっきり伝えられる人にはそれなりの支援ができていると思うが、伝えられない人に対しては十分ではない。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ホームの近辺は職員同行で出かけられるように努めている。遠出、外泊などはご家族の協力でいつでも自由に出かけることができる。	
			(外部評価) お花見やお祭り、紅葉狩りや初詣等、季節に応じて計画を立て外出されている。又、縁側や庭の木々の間のスペースにテーブルとイスが用意されており、外に出てお茶を楽しまれることもある。	さらに事業所では、今後、外出の機会を増やしていきたいと考えておられる。利用者の行ってみたい所を探り、出かけてみるような支援や、日常的にも外に出て楽しめるような取り組みをすすめていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望で使うことができる。買い物時は職員が同行するようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話、手紙ともに自由にできる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			雛人形や七夕の飾りといった季節ごとの飾り付けをしている。	
			(外部評価)	
			民家改修型のグループホームで、お風呂場やトイレもタイル張りの利用者の年代に懐かしい雰囲気となっており、食堂には、額に入った四国八十八か所の絵や利用者直筆の教訓を貼っておられた。利用者が畑作りをされており、野菜を植える等、希望に応じて畑を広げておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			台所の席は気のあった利用者同士が隣になれるように気をつけている。	
			(外部評価)	
			入居時に使い慣れたものや好みのものを持ってきていただき居室に配置できるようにしている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			居室では、クーラーを付けておられる方や扇風機を使用しておられる方もいる。中学生の職場体験時に、生徒とともにお部屋の片づけをされた方もいる。	
			(外部評価)	
			居室では、クーラーを付けておられる方や扇風機を使用しておられる方もいる。中学生の職場体験時に、生徒とともにお部屋の片づけをされた方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			ごぼうのささがきや洗濯物たたみ、字の読み書きなど一人ひとりに合わせて職員が様子を見てお願いしたり頼んでみたりしている。	
			(外部評価)	
			ごぼうのささがきや洗濯物たたみ、字の読み書きなど一人ひとりに合わせて職員が様子を見てお願いしたり頼んでみたりしている。	